

令和4年度(第3回)加西市都市計画審議会 議事録

開催日時 : 令和4年10月28日(金)
午前9時00分～午前11時00分

開催場所 : 加西市役所5階 大会議室

出席した委員: 田端和彦会長、菅野弘司委員、松村茂久委員、黒田秀一委員、佐伯欣子委員、
下江一将委員、木村浩之委員(代理 加東土木事務所まちづくり参事 波戸
岡誠)、小坂高司委員、森井忠委員(代理 加西警察署交通課長 鈴木義則)、
西村正義委員、定行真由子委員、河合由紀子委員(オンライン)

欠席した委員: 赤澤宏樹委員、吉田一男委員、荒木努委員

幹事 : 藤後靖ふるさと創造部長、末廣泰久地域振興部長、北川陽一都市整備部長

事務局 : 安福陽一都市計画課課長、藤井祥忠都市計画課主幹、岩本顕都市計画課係長、
大西弘晃主事、三宅美里主事

(事務局)

定刻から少し遅れましたが、ただいまから令和4年度第3回加西市都市計画審議会を開催いたします。委員の皆様にはご多忙中のところご出席を頂きましてありがとうございます。私は、本日の司会進行をさせて頂きます、都市計画課の安福でございます。よろしくお願ひいたします。

オンラインでご出席の方、聞こえておりますでしょうか。

ありがとうございます。オンラインの方の確認もできましたので始めさせていただきます。今回も、新型コロナウイルス感染防止に注意しながら進めるということで窓を開けさせていただきます。発言の際は必ずマスク着用ということでよろしくお願いします。

本日は、委員15名中会議室への出席は11名、オンライン参加が1名で合計12名。合計2分の1以上の出席がありますので、加西市都市計画審議会条例第6条第1項の規定により、本審議会は成立ということになります。

もし時間の都合上途中で退席される方がおられましたら、特にお気遣いなく退席していただきますよう、よろしくお願ひいたします。また、オンラインを併用していますので、発言される場合は挙手だけではなく、できれば「はい」と一言いただきますようお願いいたします。

続きまして本日本日お配りしている資料を確認させていただきます。

資料1～6が、説明事項「加西市都市計画マスタープランの策定について」の資料です。

資料1がパワーポイントの説明資料

資料2が今回のテーマである地域別構想についての説明資料

資料3がこれまで3回実施しましたまちづくりワークショップの開催概要

資料4が現在の地域別構想の案

資料5がそれらを含めた現段階での都市計画マスタープランのたたき台

資料6がまちづくりワークショップの結果の詳細

当日配布資料としまして、資料7および資料8は、市街化区域と市街化調整区域の区域区分、線引きの見直しの検討開始ということで、本日お時間があればご説明させていただきたいと思います。また、先週10月19日に開催しました都市マス策定委員会での質疑をまとめたものも机の上に配布させていただいております。

以上が、本日の資料となっております。確認よろしいでしょうか。

それでは、審議に入りますので、以降の進行を田端会長にお願いいたします。

(田端会長)

本日は事務局からお話がありましたように主には説明事項でございます。重要なのは都市計画マスタープランということで、私も作った経験がありますが、ここまで詳細な資料をつけていただくことはあまりありません。特にワークショップの様子を最初から議事録の様式で残しておられて、ある意味資料的価値もあると思いながら拝見させていただきました。地域別構想ですから、地域の特徴や住民の意向というものを最大限尊重する姿勢がよく分かります。そうして積み上げたものをくみ取って説明をお聞きいただき、忌憚のないご意見を賜りたいと思っております。

そうしましたら、最初に傍聴希望の確認をさせていただきます。加西市都市計画審議会議事運営要領には、会議の公開についての規定はございません。ただ、傍聴を希望される方がいらっしゃいましたら委員の皆様にお諮りして、その可否を決めていくこととなります。本日は傍聴希望の方はおられますか。

(事務局)

本日は傍聴希望の方はいらっしゃいません。

(田端会長)

おられないということなので、傍聴については以上です。

次に議事録署名人の選任です。こちらも運営要領によりますと署名人は2名となっております。署名人は議長が指名することとなっておりますので、私の方から指名させていただきます。まず、お一人はオンラインで出席の河合委員にお願いしたいと思いますがよろしいでしょうか。

(河合委員)

はい。

(田端会長)

それから黒田委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

先ほど申しましたとおり、今日は説明事項が2つございますので、委員の皆様にはしっかりと説明をお聞きいただきたいと思います。事務局におかれましては、なるべく分かりやすい説明と議事進行にご協力をお願いします。

本日は11時くらいには終わりたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。それでは議事に移ります。説明事項「加西市都市計画マスタープランの策定について」ご説明をよろしくお願いいたします。

●説明事項「加西市都市計画マスタープランの策定について」事務局説明

(田端会長)

どうもありがとうございました。地域区分ということで北条、加西、泉の3地域に分けてご説明を頂きました。お手元のパワーポイントの資料が小さければ、資料の2や4をご覧ください。資料5はまさにパワーポイントと同じものが出ておりますので、そちらも確認いただきながらご意見をいただきたいと思っております。

ここからはご自由にご意見、ご質問をお願いいたします。各地域の基本理念についても、今は案になってはいますが、ご意見を言って構いませんか。

(事務局)

ご意見はなんでもお願いします。

(田端会長)

恐らく地域性が違うということが分かったからだと思いますが、基本理念も地域ごとに作られております。もし基本理念についてご意見があればお願いします。いかがでしょうか。地図に落とされていますので自分の住んでいるところが、といったご質問でも結構だと思います。

●●委員お願いします。

(●●委員)

ありがとうございます。

いくつか質問させていただきます。現行の都市マスは4地域でしたが、改正後の都市マスは3地域ということです。皆様も見られたら分かると思いますが、北条地域と善防地域が一つになっているということで、説明を聞くと頷けるところもあります。ただ、策定委員会のご意見の中にもありましたが、各地域に分かれて行ったワークショップの中で3つの地域にするという説明をされた時に、その地域の分け方に対してのご意見はなかったのかということ

をお伺いします。やはり4地域が3地域になった場合に色々と意見が出てくると思うので、もう少し分かりやすい説明を入れて納得していただくことが必要だと思います。よろしくお願いたします。

(田端会長)

2つご質問がございました。特にワークショップで地域を4つから3つにすることへの意見があったのかについて。また2つの地域を合同するわけですから、住民への説明をどう考えておられるかについていかがでしょうか。

(事務局)

まず、事務局で3地域に変えた状態を検討させていただいてワークショップに臨んでいます。ワークショップの中でも、旧北条町地域ということで北条中校区と善防中校区の方と一緒に話はさせていただいております。今までは北条中校区、善防中校区に分かれていて、その4地域で分けさせていただいていました。事務局としては中学校区で分けるというよりは、北条市街地とそれ以外で分けるという印象を持っています。

先ほどの説明の中で申し上げたように、生活行動パターンが旧町でやはり違うということで分けたということもあります。少し補足させていただくと、5月の都計審で特別指定区域の見直しのことを説明させていただいた時に、新規居住者の受け入れが多い地区と少ない地区を絵にして出させていただきました。覚えていらっしゃる方もいるかもしれませんが、赤色が受け入れると回答した地区で、青色が受け入れないと回答した地区です。それを見ても実は旧加西町と旧泉町はほぼ受け入れるという回答でしたが、旧北条町の賀茂、下里、富田は受け入れるという回答が少なかったです。

そういった意味で文化、気風の違いもあると思い、3地域に分けています。元々北条市街地の方はいろんな人、他所の色が入ってきているところなので、気風という意味で分けるとしたら、中学校区ではなく、北条市街地とそれ以外というのが私たちの解釈となっています。3地域にするというのは事務局の中では大体正しいのではないかと考えています。

次に住民への説明ですが、例えば、11月の後半からパブリックコメントも行いますし、12月に説明会も行います。3地域にした理由を明確に提示したうえで臨み、それに対するご意見があれば頂くような形にしたいと思っております。

また、少し戻りますがワークショップの中の話でも、やっぱり北条市街地に住んでいる方と善防に住んでいる方では視点が違うということがありました。ですので、今は3地域に分けていますが、もし説明会やパブリックコメントで、地域の分け方への意見がたくさん出てきたら、これはまだ案ですので、再度4地域にする可能性はあります。ただ、するとしても先ほど言ったとおり、北条市街地とそれ以外という分け方になると思います。

(田端会長)

まだご質問がありましたらどうぞ。

(●●委員)

ありがとうございます。

事務局の考え方は、10年先のことを考えるとやはり3地域に分けた方がいいのかなと理解できるところもあります。ただ、加西市は特に地域性というのがあるって、私たちから見ても確かに北条市街地とそれ以外の地域というのは全く違います。そのあたりのところを踏まえながら一緒にがんばろうよ、というところがないと、加西の中が一つになっていくのも難しいと思うのでその努力をしていただきたいと思います。要望になってしまいましたが、すみません。

(田端会長)

ありがとうございました。

地域別構想を作るにあたって地域の住民のご意見を聞きながら進めていくと、地域ごとにまとまりがあるということでした。実際は市街地とそれ以外といういわゆる実質地域での違いがあるのではないかということをご理解いただいた上で、古くからある形式地域としてのまとまりにもご配慮いただきたいというご意見だと思います。

他、何かご質問等ございましたらいかがでしょうか。●●委員お願いします。

(●●委員)

ワークショップをたくさん開かれているということで大変素晴らしいことだと思います。ぜひともこれを生かしてマスタープランに反映させていただければと思います。

せっかくワークショップを開催されているので、どういう方が参加されているのかという属性をぜひとも記載いただきたいです。何年居住されているか、どこに働きに行かれているかといった属性を明確にしてどこかに記載されると、ワークショップの有意性が高まると思います。

もう1点、●●委員からもご指摘にあったところは、やはり4地域が3地域になると、必ずなぜと考えるところが皆さんあると思います。この北条地域については恐らく善防地域と地域課題や目指すところは異なりますので、3つの地域で同じ扱いをして計画を立てていく必要は全くないと思います。先ほど事務局が仰っていたように、旧市街地とそれ以外の地域で、地域計画とは別に2本立てとする方が恐らく市民の方も納得されると思います。3地域平行に同じように扱わずに、北条地域だけは2つに分けて少し違うアプローチをして計画を策定いただくと納得しやすいと思います。以上です。

(田端会長)

ありがとうございます。

属性のところは、マスタープランの中にはこのワークショップのことは明確には記載されない。それから頂いた資料にも書いてないですけども、こういう意見がなぜ出てきたのか背景を知るためには必要だと私も思います。例えば資料 6 の方に年齢だけありますが、細かいところを含めていかがでしょうか。

(事務局)

細かいところは資料を見ていただきたいですが、属性は今回の説明ではスライドで示している表を標記させていただいております。詳細な属性はマスタープランには書ききれないですが、大体の概要を掲載することは当然可能だと思っています。画面にはないですが、資料 5 の都市計画マスタープランのたたき台の 130 ページを見ていただけますか。こちらに (4) ワークショップ結果概要を北条、加西、泉の地域ごとに記載しております。この概要にどういった方が参加して、どのような意見を述べられたかという属性を追加することは可能だと思っています。

先ほどの●●委員の 4 地域を 3 地域にすることについて、今は北条、加西、泉の 3 地域になっていますが、例えば北条地域の中で、市街地とそれ以外の地域で分けて作ってみるとか、組み立てを変えるとかいうことは当然可能ですので、1 度検討させていただきたいと思っております。以上です。

(田端会長)

よろしいでしょうか。ありがとうございます。

いわゆるマスタープランの中の標記の仕方についてご説明いただきました。実際にはマスタープランを見ていただくと、市街地に適用できるものかどうかということは分かるのですが、そこを工夫して分かりやすくしていただけるということです。

他いかがでしょうか。●●委員お願いします。

(●●委員)

資料 3 のまちづくりワークショップの北条地域の主な意見に、市街地でイベントなどでも利用できる駐車場の整備がでています。私も北条町に住んでいるので駐車場がないことは分かっていますが、行政としてこの意見に対してどのようにお考えでしょうか。

次に消防団の高齢化が挙げられています。北条地域は特殊なところで消防団は 12 区で 1 つの分団を作っています。昼間は北条の街中に若者がおらず、団員の確保が難しいのですけども、入りやすい環境づくり、について何か行政の考え方があるのかお尋ねします。

それから、加西地域の戦争遺産のところで飛行場跡地の有効利用と記載されていますが、具体的にどういう意見が出たのか教えていただけますか。

(田端会長)

個別のご質問ではございますけれどもお答えを頂けますでしょうか。駐車場等の話です。

(事務局)

駐車場整備につきましては、頻繁に北条コネ等をやっていただく中でなかなか止める場所がないという話が出てきました。実は北条12区の要望で頂いたときに回答はさせていただいているのですが、現在、狹隘道路整備などで老朽危険空家の撤去に助成するという事業を行っております。例えば家を解体後に更地になった用地を提供して頂けるなら、あくまで道路に接しているところでないといけないのですが、行政の方で駐車場に整備することは考えていきたいと思っております。なかなか有償での用地の提供は難しいので、できれば無償でということに回答はさせていただいています。

消防団の高齢化については、北条地域で書かせていただいているのですが、実は北条以外の地域、特に泉地域でも同様の意見が出ていました。ですので、これは12区で1つの団という北条の特殊事情で書いたのではなく、北条ではそういった話が深堀して出たというだけで実は全部の地域で触れられていました。北条地域では、例えば女性消防団みたいなのがあったらいいんじゃないかという意見が具体的に出ていました。これはなかなか都市計画課の方で回答できる話ではないですが、この都市マスは担当課とも協議しながら進めていくものなので、危機管理課へフィードバックさせていただいて、消防団の高齢化に対してどういったことができるかを可能であれば記載したいと思っております。

続けて、加西地域の歴史遺産の活用について、どういう意見があったのかをお答えいたします。加西地域のワークショップに参加された方の中には歴史遺産の活用についての取り組みを熱心にされている方もいらっしゃいました。そういう方から、行政の方で進めている鶉野飛行場の地域活性化拠点施設も含めた周辺の取り組みに加えて、青野原俘虜収容所についても生涯学習課を通じて、いろんな講座を開くといった取り組みをしていますので、そういった各施設を連携して総合的にPRしていけないかという意見が出ました。

あるいは公共交通、道路ネットワークも、例えば鶉野飛行場から青野原俘虜収容所まで歩けるように歩道を整備して総合的な歴史遺産の活用、PRができないかという意見もありました。あと、加西地域は自転車道も加古川市まで続いていますので、そちらも活用していけないかという意見が出ております。以上です。

(田端会長)

よろしいでしょうか。はい、お願いします。

(●●委員)

今はホテルルートインが建っていますが、元々北条市街化区域には市営駐車場がありました。もうすぐ旧市役所庁舎も解体されると思いますが、その跡地利用で市営駐車場の整備を考えられているのか伺います。

それと、戦争遺産で神戸大学の跡地にある防空壕シアターが有料になったと思いますが間違いないでしょうか。

(田端会長)

まず1点目の旧庁舎跡の利用のご質問についてお願いします。

(事務局)

ご存じない方もいらっしゃるかもしれませんので、初めからお話させていただきます。北条町栗田のホテルルートインから少し北西に行ったところに、昔の市役所の庁舎が残っている状態です。シルバー人材センターがあるところなのですけれども、その旧庁舎の解体を市の管財課の方で進めています。

跡地利用の話については私どもも聞いてはいますが、具体的に何にするかというのはまだ決まった話ではなく、今後の議論で決めていくという答えしか今のところはできません。ただ、当然駐車場という話も出てくる可能性はあるとは思っております。

戦争遺産の話については、●●幹事の方から回答いたします。

(●●幹事)

防空壕シアターで一部お金を頂く形にしていることについてのご質問だと思います。防空壕シアターについてもこれまではボランティアガイドさんが、ガイドをされる際に無料で公開をしていました。しかし、鶉野飛行場跡地の一つの大きなコンテンツとして、sora かさいと合わせて防空壕シアターの有効活用をするにあたって、一定の人の配置や、安全のためのヘルメットの貸出、映像の再生などに人件費がかかってまいります。たくさんの人に見ていただくために、一定の人を配置する必要があり、今年度になってから一部お金を頂いて公開しているところはございます。

(田端会長)

よろしいでしょうか。

(●●委員)

もう1点あります。私たちは施設ができた当初からsora かさいもそうですが、200円でも300円でも有料にすべきだとずっと言ってきました。無料だったのを急に有料にしたのでちょっとおかしいことをするなと思ったんです。sora かさいもあれだけの資料を税金で作っているのだから、利用料を200円でも300円でも取るべきだと当初から言っています。そのことについても一度お尋ねします。

(田端会長)

政策決定、有料化決定過程が明確ではないということでもよろしいですか。私もそのあたり分からないので簡単にご説明よろしいでしょうか。

(●●幹事)

都市マスとは直接関係ないところだと思いますけれども、確かに sora かさい自身の有償無償の話は市議会の方でもいろいろご議論されてきました。我々としては史実をたくさんの方に知ってもらいたいというところで、一旦無料にしたところですよ。

防空壕シアターについては sora かさいの施設の中でコーヒーチケットと一緒にとかシャトルバスの利用というところも含めたサービスとして、防空壕シアターも一部合わせた形でお金を頂くようにしております。

(田端会長)

税金を使った施設に対してどのように利用料を払うかという、いわゆるチャージ問題についてのご意見でした。確かに税制上の問題もありますし、都市計画においては市の公共施設の配置にも関係のある所なので、重要なことだと思います。さきほど、幹事から仰っていただいたように、方針としてその施設はどういう意味があるのかという点が重要になってきます。

例えば、公民館では施設費はとりますけども入るのは自由ですから、お金をとるわけではありません。どのような目的で施設を造られているのか、それに応じて、利用者負担が必要なのかどうかという判断がどこかにありますが、その基準がなかなか明確ではないというご意見です。特に博物館とかいわゆる教育施設は教育委員会などとも色々関係がありますので、今の段階で市役所部内でどのような議論が行われたかとか、あるいは議会での答弁を通してどのように変更されたのかについては、ここではお答えが出にくいと思います。考え方としては公共施設の配置も含めて、利用料をどうとるかということは重要な観点だろうと思っております。ただ、大変貴重なご指摘だと思いますが、この場ではこれ以上の議論ができないので、すみませんが、ここで閉じさせていただきます。

他、何かご質問ございませんでしょうか。●●委員お願いします。

(●●委員)

ありがとうございます。

若い世代を中心に未来のまちづくりワークショップを開かれたということで、地域ごとに主な意見が色々出ていることから、素晴らしい意見がでて、議論を交わされたんだなと感じております。

資料 4 の地域別構想のワークショップでの自由意見を拝見した際に、未来のまちづくりワークショップで出た主な意見があまり反映されていないように感じました。確認不足であれば申し訳ないですが、未来のまちづくりワークショップで出た意見がどのように反映さ

れているかについてお伺いできたらと思います。

(田端会長)

ありがとうございます。

これはマスタープランを作る上で住民の意見をどのように反映させているのかという点で非常に重要だと思いますがいかがでしょうか。

(事務局)

実は資料4は、2回目、3回目の地域別構想のワークショップのことを書いていますので未来のまちづくりワークショップのことは直接書いていません。関連という意味で申しますと、未来のまちづくりワークショップに来られた方で、そのまま地域別構想のワークショップに出られている方もいます。

例えば、資料4の1枚目の北条地域の自由意見の上から2つ目のICカード利用のところ。北条鉄道はICカードが使えないのでそういったところのデジタル化の推進という意味で言われていました。

下から3つ目、これはテクノロジーの話か分からないですが、太陽光の無秩序な設置が進んでいるという話の展開の中で、なぜ太陽光発電のパネルがいっぱい置いてあるのに電気代が上がっているのかという話になりました。加西市に設置されている太陽光発電による電気は実は加西市では使われていないという話を私の方からしたところ、それはおかしな話だろう、と。何とか加西市で使えるようにしないといけないという話の中で、会社ではないですが、地域で使う加西電力といったものがあればいいのではないかという、テクノロジーという意味で展開があったと思っております。

なかなか見当たらないですが、そういったことは地域別構想に展開していったと思います。

(●●委員)

ありがとうございます。

いま仰っていただいた、細かい中身で反映された部分はあるのかなと感じました。実際に旧泉町地域で新しい農業、商業が必要という意見が出ていました。この辺は反映されているかもしれないですね。加西地域の新しいコミュニティが必要という意見は、私自身結構大事だと思っているので是非反映していただければと思います。要望になってしまうかもしれませんが、よろしく願いいたします。

(田端会長)

ありがとうございます。

先ほど言ったように、住民意見をどのように計画の中に盛り込んでいくのか。都市マスの

審議委員会の中でも同じような意見が出ていますけども、特に住民の意見とは必ずしもハードウェアだけではなく、なかなか都市マスに盛り込みにくいところがあります。ただ先ほどの太陽光の話なんかは分かりやすいと思いますが、設置となるとまさに都市計画で縛ったり縛られたりするものですから、例えば条件としてこういうものを付けますよ、といったことは十分書けることだと思います。また、若い人の中で子育ての話が出てきたら、子育ての為の空家活用をどうしようかということも都市マスに書けると思います。

こういった意見をどのように都市マスに落としていけるのかということをもう少し考えたらどうかということと、もう少し若い人の意見を反映できないかという、●●委員からのご意見だと思います。そのあたり、もう少しかけることがあるのではないかとということと、先ほどおっしゃった泉地域でのスマート農業も一部書いてはありますが、もう少し強調するなどできないかということでもよろしいでしょうか。

まだ1、2分ありますがいかがでしょうか。●●委員お願いします。

(●●委員)

産業界、商工会議所からの要望になります。加西市の場合非常に工業が盛んで、兵庫県でもまれな市であると聞いております。工業や今の産業団地など色々考えてされていますが、その中で働く人達の住む場所の問題や、仕事はあるけれども、人がいないということをよく聞きます。

円安の傾向もあって、国内に仕事を持って帰ってきてやろうという話もあります。その中でなかなか日本人が集まりにくい。やっぱり外国人を採用して何とか戦力にしていきたいという考えの企業が多くあります。既に加西市も人口が増えているのは外国人の方が増えているのではないかと考えているのですけれども、その中で外国人の人たちと共生しながら共同に活動して企業の中で経済活動をしていくことになります。

そのためには住居が必要になります。今殿原町と中富町の方に計画もあると聞いておりますし、空家の活用などをされていると思います。なかなかまだ偏見があって、アパートとか村の方で「外国人お断り」という話もちょうくちよく聞きます。その辺行政と共に我々商工会議所としても、外国人が住めるような場所を作って、海外から来ていただく。そうすれば当然人も増え、経済も活性化されて、いろんな意味でいい形になると思います。そういった形を具体的に考える時期に来ているのではないかと思います。以上です。

(田端会長)

ありがとうございました。2点ご意見がありました。おそらく1つは開発可能性というところで、これは次の議論でかかる部分だと思います。もう1つはいわゆる外国人との共生という部分だと思います。このあたりに記載がありますとかいうお答えでも結構です。今回ワークショップとかのアンケートとかの意見が資料で出ていますので、あまりそういった意見が出てこなかったと思いますが、地域別構想でも全体を通してでも結構ですので、もし事

事務局としてお考えがあればお願いいたします。

(事務局)

産業の話は次の審議会でご説明させていただこうと思っております。加西市も当然よく分かっていることで今までも地区計画や特別指定区域制度を使って市街化調整区域で建てられるようにやっています。例えば、資料5の144ページをご覧ください。

これは加西地域の地域別構想ですけれども、産業については、土地利用の方針の1番上の黒丸のところに工業団地の維持充実や企業ニーズに合わせたタイムリーな区域拡大について。その下では、鶉野地区や繁昌地区で工業が集積しているところがあるので、そちらでも新たな立地誘導、集積を図っていくということで書かせていただいております。

その下に調整区域の集落での空家の活用のことを書かせていただいております。春に行なった審議会でご説明させていただいた、空家を社宅に使えるような形の特別指定区域をつくっていくということも書かせていただいております。それについても、今はっきりと記憶がないのですが、地域に話をもっていった時には、5割以上の地域でそういった話を受け入れるという回答を頂いております。今作業が遅れていますが、特別指定区域ができれば、空家の社宅、シェアハウスのような利用はすべての地区ではないですが、半分以上の地区では可能になると考えております。

外国人との共生のことは、実は、昨年行った住宅マスタープランのアンケートで聞いておりました、今回の都市マスのアンケートの中でも、共生のことについて回答いただいている方もいらっしゃいます。なかなか都市計画の中に落とし込むというのは難しいところがあります。今の案の中では直接的に書いておらず、空家の活用とか社宅利用という言葉でしか使っていませんが、非常に大事なことなのでどこかに共生のために必要な住宅地の創出といった記載について検討しようと思っております。

(田端会長)

ありがとうございました。

経営者団体というお立場もありました。一方で先ほどの事務局の意見にも、よそ者を受け入れる気風の問題が一部でできたと思います。そういったコミュニティづくりともかかわる話だと思うので、何か少し工夫して頂いて、共生という考え方、非常にキーワードになっている1つですのでお考えいただければと思います。よろしく願いいたします。

他いかがでしょうか。大体よろしいでしょうか。

いろんなご意見を頂きましてありがとうございました。今日のご意見も含めまして、都市マスを修正頂いた次回が最終のチェックでございますのでよろしくお願いいたします。

そうしましたら次に移りたいと思います。長くなって申し訳ないですが、本日の追加の説明事項「市街化区域と市街化調整区域との区域区分（線引き）の見直し検討開始について」事務局の方からご説明をお願いいたします。

●説明事項「市街化区域と市街化調整区域との区域区分（線引き）の見直し検討開始について」事務局説明

（田端会長）

この審議会でもニーズに合わせて土地利用をもう少し柔軟化しましょうという議題がよく出てきます。これは兵庫県の方も斎藤知事になる前から柔軟化する方向で様々な機会というのはあるのですけれども、根本のいわゆるルールそのものを変えるということはなかなか難しいということでございます。

平成に入りまして、実は都市計画については全国的に柔軟な運用が進んできていますが、なかなか全体を変えるというのは難しいといわれている中で、今回かなり大きな改正が行われる可能性があるということです。その意見を加西市が求められているということです、先ほどありましたご説明をしていきたいということでございます。

もし経済界の立場から何かご意見ありましたらお願いいたします。

（●●委員）

線引き廃止はかなりハードルが高い部分もあるかと思いますが、人がいないということが、経済界、特に製造業における一番大きな問題だと思っています。工場誘致をしても、そこでものづくりができないという現実がある。なかなか日本人だけでは対応しきれないところもあり、外国人労働者を採用されている企業も本当に多くあります。外国人労働者の中で、地域で生活をして家族を日本に呼ぶ人もいるし、何年か経って帰国する方もいるが、生活における基盤を作ることによって、加西市で将来的に働いてくれて、教育の問題もありますが、そこで子どもも産んで、定住してくれるような社会が現実的になればいいなと思います。

（田端会長）

今回は制度部分について細かく書かれているのですが、いわゆるまちづくりに対してどのような姿勢を持っているのが大事なかなと思いました。今日も制度の話で、もし緩和しても加西市の規制であれば十分規制できますといった話でしたのでここは非常によくわかる部分ですが。

●●委員がおっしゃったように例えば外国人との共生となれば、いろんなコミュニティのルールなんかがあります。そういった部分も行政が関わりながら、大都市では難しいですが、加西市の人口規模ならではのことができることがある、というのも1つの考え方としてはあると思いました。今日の都市マスでもよそ者を受け入れる気風があるんだ、というお答えもありましたのでそういうソフト的な部分ももう少しご説明されるといいのではないかと思います。

実をいうと、いわゆるコミュニティールールというものも結構あって、制度だけで縛るとい
うのはなかなか難しいところもあるのでちゃんと加西市としてバックアップしていきます
よ、といったところはあってもいいのかなと●●委員の意見をお聞きしながら感じたところ
です。

他どうでしょうか。何かご意見ご質問あれば。●●委員お願いします。

(●●委員)

県での説明資料ですが、最初から最後までこんなに細かく決めてすごく頑張っておられ
るなというのは感じました。

加西市ははっきり言って今もそうですが、市の発展を誘導することと環境保全の両方を
同時にしないといけない地域だと思えますし、すでにされていることと思えます。

その中で、新たなまちづくりのルール案として、条例や計画を作りながら誘導と保全をさ
れるということだと思えますが、市民の理解や話し合いの場というのがなければ、行政が一
生懸命しても、なかなか前に進みにくいところもあると思えます。その点はコミュニティで
の理解、共有ということがしっかりできるようにした方がいいと思えます。

ただすごいなど。線引き廃止が実現できるんだということを言っておられると思うので、
頑張ってください。

(田端会長)

私もその部分は非常に感じる場所です。

制度を実際に動かそうとすると、そこにいる住民の理解がないとなかなか難しいという
ご意見でした。ただ、前回の審議会でも出ていましたが、加西市は細かい調査などを自治会
に対してされていますので、そういった情報もお持ちだと思います。そういった情報もうま
く解禁しながら進めていただければと思います。

今回、県の専門委員会の委員の中にコミュニティの政策、社会学の先生がいないので、こ
ういった話が出るか分かりませんが、制度論、都計、経済、農業の専門家で産業面が多いの
でこういった答えになっていると思えます。社会学、地域社会学、都市社会学の先生を入れ
ると先ほど●●委員が言われたような意見も出てくる可能性があると思えますし、もしか
したら今の委員でもそういった意見が出るかもしれない。加西市としては、細かな調査もし
ているので、それをバックボーンにしながらお答えいただければと思います。

●●委員お願いします。

(●●委員)

線引き廃止の検討で色々変えていこうとされていて、素晴らしい内容だと思います。

移住支援などを色々していく中で、地縁者の縛りで移住できなかったり、様々な、兼業住
宅や事業をしたいのにできないという事例をたくさん見てきているので、そんな中でこう

いったことが実現されるのであれば素晴らしいと思います。

今、コロナを契機に程よい田舎への移住、起業の関心が高まっていて、産業の形態も色々転換しているといえますか、今までの発想にないような新しい取り組みをしたいという方もたくさんいらっしゃると思います。土地利用を考えていく中で、柔軟に、多少幅を持たせて、そういったものにも対応できるような制度作りができればいいと思います。

(田端会長)

移住という言葉も出てきましたが、ある意味、地方創生の大きな精神というのはまさに地域においての人口増です。これは先ほどから●●委員もおっしゃったように多様な人々を受け入れつつ、そういった方々が、このまちで、あるいは市で産み育てるという環境を作っていないといけない。そのためには、今日は基盤となる経済とかの話が中心だったのですが、それだけではなくて、いろんな人が入ってこられるような、そういった基盤が必要だというご意見だと思います。ぜひこのあたりも強調いただければと思います。

他にご意見いかがでしょうか。なかなかこういった意見を県の方でいう機会はそんなにたくさんあるわけではありません。加西市が今までやってこられた様々な経験を逆に言うところの方が欲しているということは、その方向性について関心を持っておられるということですので、何かこのあたりを含めてご意見あればお伺いしたいと思います。

●●委員よろしければいかがですか。

(●●委員)

制度を変えて非線引き地域にするのは大賛成で、もろ手を挙げて賛成させていただきたいと思います。皆さんもご存知だと思いますが、非線引き地域は、兵庫県ではだいたい北部の地域にあって、このあたりと比べると開発圧力が弱いところで、非線引きを行うというのが通常です。加西市の場合、開発圧力はそれなりにあるところなので、そういう場所で非線引きにするというのは、きめ細かいコントロールが継続的に必要になってくるということになります。県としてもこれまでの実績と体制、能力などそういったものを勘案して、おそらく大丈夫だろうということで検討を進められているのではないかと思います。まさにこれまでの努力が認められてこういう動きがあるということだと思います。

きめ細かなコントロールは当然必要ですが、今話に出ていた、都市開発、産業開発、そういったものは時代によってコロコロ変化していくものですから、当然これは市でいろんなルールを作られても、それを時代に合わせてかなり細かな変更を柔軟にしていくことが必要になります。

おそらく今の体制と状況を考えると問題ないとは思いますが、それなりに覚悟が必要になります。そういう気構えもおありなので問題ないとは思いますが、きめ細かい変更と時間軸によってかなり大きく変わっていくことはある程度覚悟したうえで取り組むことが必要になるのではないかと思います。

(田端会長)

時間軸という非常に重要なキーワードも出てきました。そういう点も含めてご説明をお願いしたいと思います。

他に何かご意見ご質問ありませんでしょうか。

貴重なご意見ありがとうございました。こういった審議会の意見も県への説明にかえていただくということでよろしく願いいたします。

そうしましたら、以上を持ちまして本日の審議を終了させていただきます。皆様のご協力に感謝申し上げます。

それでは、事務局に議事進行をお返しいたします。

(事務局)

長時間にわたりましてご審議、ご議論いただき、ありがとうございました。

最後にご説明した線引き廃止の検討の開始につきましては、あくまで検討の開始というだけで、決まった話でもなんでもありませんし、いつできるかも分からない話ですので、大きな動きがあったときに、また報告という形にさせていただこうと思っております。

次回の審議会の日程を決めさせていただきたいと思っております。候補日ですが、本当に申し訳ありませんが、年末の12月28日(水)の13時30分からとさせていただきたいと思っております。次回は本日ご議論いただいた都市計画マスタープランの最終の前の段階の案を作らせていただくのでそのご議論と、今の予定では加西インター産業団地の第2期の話も少しさせていただけたらと思っております。2か月先の話なので、年末最終日で申し訳ありませんが、その日程でお時間を空けて頂きますようによろしく願いいたします。案内文などは別途送付いたします。

予定を5分オーバーしましたが、これを持ちまして令和4年度第3回加西市都市計画審議会を閉会させていただきます。本日は誠にありがとうございました。